

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 1 全体評価</p> <p>【原文】 「一方、大学院博士課程について、学生収容定員の充足率が平成16年度から平成18年度においては85%、平成19年度においては90%をそれぞれ満たさなかったことから、今後、速やかに、定員の充足に向け、入学定員の適正化に努めることや、入学者の学力水準に留意しつつ充足に努めることが求められる。」</p> <p>【申立内容】 下線部を削除し、【修正文案】のとおり変更願いたい</p> <p>【修正文案】 「一方、大学院博士課程について、学生収容定員の充足率が90%を満たさなかったことから、今後、速やかに、入学者の学力水準に留意しつつ、定員の充足に努めることが求められる。」</p> <p>【理由】 大学院博士課程における充足率の不足については、平成16年度評価から引き続き指摘されてきたことから、平成19年度から、これまでの4専攻を1専攻に改組するとともに、入学定員を30名から15名に適正化したところである（業務実績報告書23頁ほかに記載）。したがって、入学定員については、既に適正化を図っておりますので、上記のとおり修正願いたい。 また、今回は平成19年度業務実績に係る評価につき、平成16年度から平成18年度に関する記述については、別途、中期目標期間評価において記載すべきと考えます。</p>	<p>【対応】 原案のとおりとする。</p> <p>【理由】 入学定員の削減が行われていることは理解しており、それを踏まえた文案としているため。</p>

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 2 項目別評価 (1) 業務運営の改善及び効率化</p> <p>【原文】 「大学院博士課程について、学生収容定員の充足率が平成16年度から平成18年度においては85%、平成19年度においては90%をそれぞれ満たさなかったことから、今後、速やかに、定員の充足に向け、<u>入学定員の適正化に努めることや、入学者の学力水準に留意しつつ充足に努めることが求められる。</u>」</p> <p>【申立内容】 下線部を削除し、【修正文案】のとおり変更願いたい</p> <p>【修正文案】 「大学院博士課程について、学生収容定員の充足率が90%を満たさなかったことから、今後、速やかに、入学者の学力水準に留意しつつ、定員の充足に努めることが求められる。」</p> <p>【理由】 大学院博士課程における充足率の不足については、平成16年度評価から引き続き指摘されてきたことから、平成19年度から、これまでの4専攻を1専攻に改組するとともに、入学定員を30名から15名に適正化したところである（業務実績報告書23頁ほかに記載）。したがって、入学定員については、既に適正化を図っておりますので、上記のとおり修正願いたい。 また、今回は平成19年度業務実績に係る評価につき、平成16年度から平成18年度に関する記述については、別途、中期目標期間評価において記載すべきと考えます。</p>	<p>【対応】 原案のとおりとする。</p> <p>【理由】 前述の意見に対する対応のとおり。</p>